資産形成のきほん

はじめての新NISA

しくみと、口座開設から積立設定までの流れ

情報確認日: 2026年9月3日 ／ 出典: 金融庁 NISA特設ウェブサイト ほか
※ 本資料は一般的な情報提供です。投資は元本割れ等のリスクを伴います。

OVERVIEW

この資料の対象とゴール

対象

これから新NISAを始めたいけれど、制度が複雑そうで一歩を踏み出せない人

ゴール

制度の基本・リスク・口座開設から積立設定までの流れがわかる

運用益が非課税

税金 約20%がゼロに

枠は2つ

つみたて / 成長

生涯1,800万円

成長枠は1,200万円まで

損失は通算不可

他口座と相殺できない

出典: 金融庁 NISA特設ウェブサイト「NISAを知る」（2026年9月3日確認）

BASICS

新NISAとは

運用益にかかる税金がゼロになる制度

株式や投資信託の利益（売却益・配当・分配金）には通常 **約20%（20.315%）**の税金がかかります。NISA口座で得た利益は非課税です。

2024年1月開始の新しいNISAは**恒久的な制度**で、非課税で持てる期間も無期限です。

利用できるのは、口座を開く年の1月1日時点で**18歳以上**の国内居住者です。



出典: 金融庁「NISAを知る」／「NISAを利用する皆さまへ」（令和7年9月改訂）

FRAMEWORK

2つの投資枠

つみたて投資枠と成長投資枠

つみたて投資枠

年間投資枠

120万円

非課税で持てる期間

無期限

買えるもの

長期・積立向けの一定の投資信託

成長投資枠

年間投資枠

240万円

非課税で持てる期間

無期限

買えるもの

上場株式・投信・ETF・REIT など（一部除外）

2つは併用OK — あわせて年間最大 360万円 ／ どちらか一方だけでも大丈夫

出典: 金融庁「NISAを利用する皆さまへ」（令和7年9月改訂）

LIFETIME LIMIT

一生で使える非課税枠は 1,800万円

1,800万円

生涯の非課税保有限度額（買ったときの金額ベース）

うち **成長投資枠は 1,200万円まで**。つみたて投資枠だけで1,800万円を使い切ることも可能。

1. **国税庁が利用者ごとに一括管理**
   複数の金融機関に持っていても合算される
2. **売却すると枠が復活する**
   翌年以降、買ったときの金額の分だけ再利用できる
3. **復活枠は年間枠に上乗せされない**
   その年の上限は120万円・240万円のまま
4. **旧NISA（〜2023年）は別枠**
   新NISAへ移すことはできない

出典: 金融庁「NISAを利用する皆さまへ」p5／「NISAの抜本的拡充・恒久化のイメージ」

CAUTIONS 1 / 2

始める前に知っておきたいこと ①

元本割れのリスクがある

価格は上下し、購入額を下回ることもあります。

NISAの損失は「なかったこと」になる

他の口座（特定口座など）の利益と相殺（損益通算）できず、翌年以降への繰越控除もできません。

旧NISAの商品は新NISAへ移せない

2023年までに買った商品は別枠で管理され、移管（ロールオーバー）はできません。

出典: 金融庁「NISAを利用する皆さまへ」p2 脚注・p6／「よくある質問」

CAUTIONS 2 / 2

始める前に知っておきたいこと ②

海外資産の商品は為替の影響を受ける

資産自体の値動きに加え、円に対する外貨の変動も影響します。新興国は変動が大きい傾向。

配当金の非課税には受取方法の設定が必要

「株式数比例配分方式」（証券口座で受け取る方式）にしないと、NISA口座の株でも配当金は課税されます。

分配金が多い＝得、ではない

投資信託の分配金には利益部分と元本の払い戻し部分があり、分配された分だけ基準価額は下がります。

出典: 金融庁「NISAを利用する皆さまへ」p15・p22〜24

HOW TO START

口座開設から積立設定までの流れ

1

申込

金融機関にNISA口座を申込。本人確認書類とマイナンバー確認書類が必要。

2

開設完了

NISA口座の開設が完了する。

3

取引開始

買い付けが可能に。最短で申込当日の場合も（時期は金融機関により異なる）。

4

税務署の確認

二重口座でないことが確認される。二重口座なら買付済み商品は課税口座へ移管。

1人1口座。つみたて投資枠と成長投資枠を別々の金融機関には分けられない。金融機関の変更は1年単位。

出典: 金融庁「NISAを利用する皆さまへ」p7

KEEPING IT GOING

いくらを、いつまで続ける？

- 「無くても生活に困らない金額」から始めて継続する
- 長期・積立・分散でリスクを抑えつつ安定的な資産形成を目指す
- 途中売却OK。必要なときは一部だけ売ることもできる
- NISA以外（預金・iDeCo など）も組み合わせて考える

参考 ・ 試算

月3万円 × 40年 を 年利3% と仮定

元本 1,440万円

→ 約 2,752万円

金融庁の試算例。将来の成果を保証するものではなく、手数料等は考慮していません。

出典: 金融庁「NISAを利用する皆さまへ」p4・p27〜28・p35〜36

SUMMARY

まとめ

- 運用益が非課税／非課税期間は無期限
- 枠は2つ（つみたて年120万円・成長年240万円）／併用で年360万円
- 生涯1,800万円（成長は1,200万円まで）／売却で翌年以降に復活
- 損益通算できない・為替・配当金の受取方式に注意
- 口座開設は「申込 → 開設 → 取引開始 → 税務署確認」

出典（すべて2026年9月3日確認）

金融庁 NISA特設ウェブサイト（NISAを知る／よくある質問）
金融庁「NISAを利用する皆さまへ」（令和6年6月・令和7年9月改訂）

※ 本資料は一般的な情報提供であり、投資助言・税務助言ではありません。制度は改正される場合があります。投資は元本割れ等のリスクを伴い、最終的な判断はご自身の責任で行ってください。